

いけ しょうかい (1) ため池の紹介

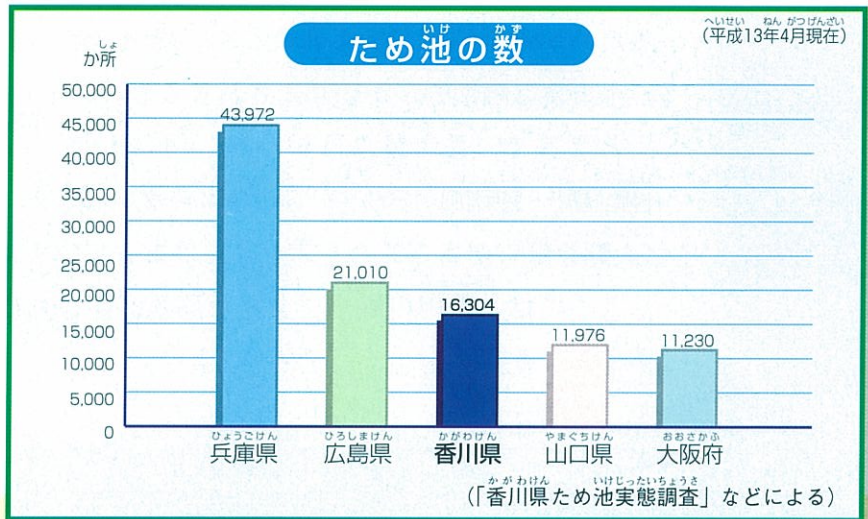
1 ため池の数やため池の密度を調べましょう

学校や家の周りを見わたすと、大小さまざまなため池があることに気づきます。そこで、ため池の数を図書館やインターネットで調べてみました。

香川県には、いったい何か所くらいため池があるのかな？また、ため池の数では全国で何位かな？



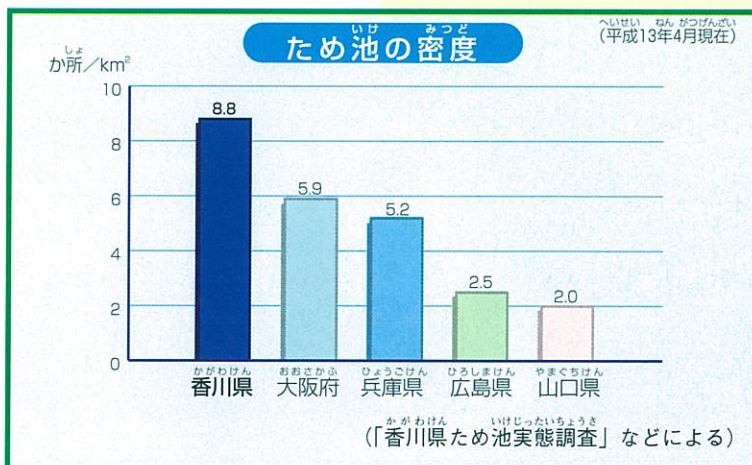
ぼくの学校のまわりにもいくつもため池があるよ。だからため池密度はきっと高いだろうね。



香川県には、ため池が約16,000か所ほどあり、これは全国第3位の数だということが分かりました。最近では、香川用水ができたために、あまり必要がなくなった小さいため池はつぶされ、その数はだんだん減ってきているそうです。次に、調べたため池の数をもとにして、人口密度と同じように、ため池密度(1km²あたりにため池が何か所あるのか)を計算してみることにしました。

香川県は面積が全国で一番小さい県ですが面積の割にため池の数が多いということになります。そのため、ため池密度は高く、それは全国第1位です。

このようなことから、香川県の特ちょうを表す一つとして、「ため池王国 香川県」と言われるようになったのです。



② ため池の造り方を調べましょう

次に、ため池の造り方について調べてみましょう。

地図を広げてため池のある場所を調べてみました。すると、讃岐山脈のふもとの辺りや平野の中に点在していました。

造り方からため池を仲間分けすると、大きく四つに分けられるそうです。

一つめは、「ふもと池」です。山地や丘のふもとにある浅く小さな谷を利用した池です。

二つめは、「山地池」です。山地の深い谷間をせき止めてできた池です。

三つめは、「台地池」です。山のふもとや台地の谷やがけを利用した池です。満濃池や豊稔池など大型の池はこの仲間に入ります。

四つめは、「平地池」です。平野で水がわき出ているところの周囲をていぼうで囲った池です。

同じため池でも場所によって、造られ方がちがいます。時代的には「台地池」の方が早くから造られました。満濃池はその代表で平安時代にできています。「平地池」はほとんどが江戸時代に造られていますが、その多くは水田や畑をつぶして造られたようです。人々は、水を確保して米の収かくをふやすためにいろいろな工夫をしてきたのです。

みなさんの周りにはどんな種類のため池があるか調べてみましょう。また、ため池について、昔からの言い伝えがいろいろあると思いますので、地域のお年寄りに聞いてみましょう。

ため池がある場所によって、造り方がちがうのかなあ？



山のふもとにある（台地池）



平野の中にある（平地池）

● 満濃池

満濃町と仲南町にまたがる日本一のため池「満濃池」は、空海がかつやくする100年くらい前に造られた池です。

ていぼうがくずれることが多かったので、821年には空海が、1628年には西嶋八兵衛がていぼうのしゅうりを行って、ていぼうが切れないように、二人ともていぼうの場所や造り方などいろいろな工夫をしたようです。

● 豊稔池

土地がこえていた大野原町では、開こんがすすむにつれて水不足になやまされることが続いた。大正9・10年の2度にわたる大干ばつによって、近代式のため池の必要性が高まり、農民の声となった。その農民の熱意がみのり、大正15年の着工、5年の月日と、のべ15万人の労力を投入して昭和5年に完成した。（豊稔池の碑文より）

③ ため池の水の流れを調べましょう

「親池」「小池」「孫池」には、どんな関係があるのだろうか？



池と水田を結ぶ用水路



水の入った水田

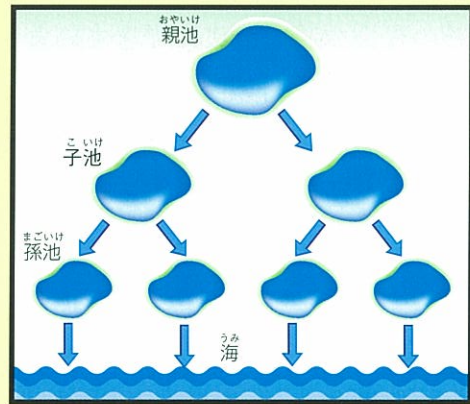
大きな川が少なく、年間の降水量も少ない香川県では古くから貴重な水を有効に使うためにいろいろな工夫をしてきました。ため池の水の流れを調べてみると、その工夫の様子が分かってきます。

ため池には、「親池」、「子池」、「孫池」という関係があります。

香川県は、南の讃岐山脈から北の瀬戸内海に向かってゆるやかに傾斜しています。この傾斜を利用して、平野の高い方にある大きなため池の水を、少し低いところにある次のため池に川や用水路を利用してうつしながら、次々と田に水を入れていきます。

次の池、また次の池へと水は送られていきますが、最後の一滴までむだにしない工夫がされています。(香川用水も水を大切にするためにこのしくみを利用しています。)

それぞれのため池にためられた水は、「代かき」「田植え」など必要な時期に同じ用水路で結ばれた田にいっせいに流されます。



こうして、右の図のように「親池」から「子池」、そして「孫池」へと水は流れていきます。その

とき、あまった水はそれぞれの池にたくわえておくのです。この水は、次に必要となったときに使われるのです。

満濃池には、59の子池・孫池があり、水門だけでも約2,000か所をこえるそうです。

みなさんの学校や家の近くにあるため池は、「親池」「子池」「孫池」のどの仲間に入るのでしょうか。そのため池に入ったり出たりする用水路を手がかりにすると調べやすいと思います。

● ため池の水の流れを豊田台地（観音寺市）を例にして調べてみましょう。

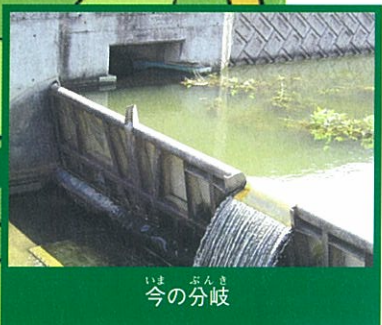
むかし、岩を苦労してほって造った用水路は、今はごがん工事がされています。



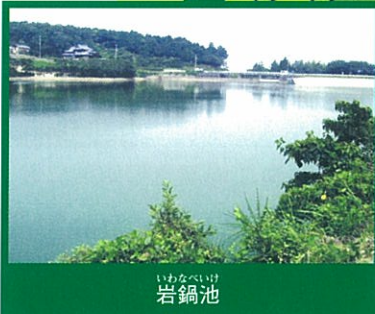
こばらいけ 小原池



工事のむずかしかったところ

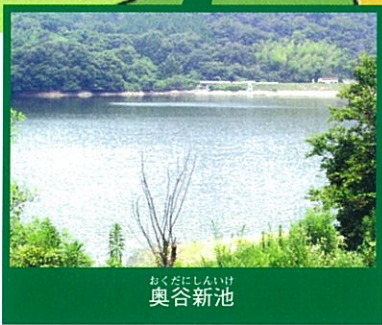


いまぶんき 今の分岐



いわなべいけ 岩鍋池

おくだにしんいけ 奥谷新池は一だん高くなった山の中にありました。この池の水は粟井池に流されます。



おくだにしんいけ 奥谷新池

おくだにしんいけ みず あわいがわ 奥谷新池の水は、粟井川に流されます。分岐で分けられます。用水路をとおっておばらいけ 小原池にためられたのち、とよただいち 豊田台地に流れていきます。



川の流りが二つに分かれていました。香川用水が来るようになって、今はきかいの力で分けられているそうです。

※ にしやまじうえもん 西山治右衛門・くろうえもん 九郎右衛門の学習の時に、このページの水の流れを参考にしてください。